



紀宝町地域医療 研修センター

令和4年10月に町全体で地域医療を充実させていくことを目的に設立しました。



給食

昨年度に引き続き、令和5年度も、保育所・幼稚園・小学校・中学校において、給食を無償で提供します。

令和5年度 所信表明

誇りと愛着の持てる 魅力あるまちづくりを

※この所信表明は令和5年3月1日開催の、第1回町議会定例会での、令和5年大綱説明を紹介しています。



所信表明
2023
Kiho Town

町政の基本方針と施策の大綱

給食費の無償化

令和4年7月から保育所・幼稚園、9月から小・中学校で実施している「給食費の無償化」ですが、保護者の皆様から継続のご要望を受け、昨今の物価高騰や財政状況などを総合的に検討しました結果、令和5年度も継続し、子育て世帯の経済的支援を図っていきます。

地域医療

「地域医療を学べるまち紀宝町」をスローガンに掲げ、医学生・研修医の地域医療研修の受け入れをはじめ、講演会や研修会等を開催し、町民の皆様への地域医療の学びを普及することを目的に、令和4年10月に「紀宝町地域医療研修センター」を設立したところであり、引き続き、取り組みを推進していきます。

さらに、「住み慣れた家や地域で安心して暮らせるまち」を実現するため、地域

の医療機関と連携する訪問看護が必要不可欠であることから、町立の訪問看護ステーション設立に向けて研究を進め、ポストコロナ時代に求められる優秀な医療人材の育成・確保と、人生100年時代の超高齢化社会のニーズに合わせた地域包括ケアシステムの推進と在宅医療を充実させ、より一層の強化を図ります。

子育て環境の充実

合計特殊出生率の向上による人口減少対策や子育て環境の充実を図るため、保育料第2子以降の無償化については、子育て世帯への経済的な負担の軽減を図ることを目的に、制度化を進めていきます。

出産祝い金の拡充については、これまで第3子10万円、第4子以降30万円でしたが、令和5年度から第2子10万円、第3子20万円、第4子以降30万円と、第2子、第3子

をそれぞれ10万円増額し、「まの宝」の誕生をお祝いします。

結婚新生活支援

現在実施しています「結婚新生活支援」制度の対象にならない新婚カップルの皆様に祝い金として3万円を支給する「ハッピーマリッジ祝い金」を創設し、新たな門出をお祝いたします。

若者応援

若年層の労働環境を整え、より多くの方に紀宝町で働いていただくことを目的として、16歳から29歳までの方が高等学校や大学等を卒業後、またはU・I・J・ターンで町内に在住して地元企業に就職した場合などに、5か年にわたり年額5万円を上限として町民税相当額を支給する「活力あふれる若者定住応援金」を創設し、定住を促進していきます。

移動手段の確保

全国でも多く発生している高齢者による交通事故の発生を抑制するため、運転免許証を自主返納された方にお一人様1回に限り、タクシー利用券2万円分と町商工会が発行している共通商品券1万円分を支給する「高齢者運転免許証自主返納支援事業」を創設し、自主返納による不便さの軽減や外出機会の創出を図っていきます。

また、65歳以上で運転免許証を保有していない方、または身体障害者手帳をお持ちの方を対象に、日常生活における移動手段を確保し、社会参加の促進、心身の健康増進、介護予防の推進などを目的として、電動車いす上限14万円・電動アシスト自転車上限5万円・電動アシスト三輪車上限7万円、三輪車上限3万円の購入補助を、さらに、運転免許証を自主返納された方には補助金額を上乗せし購入を支援する「高齢者等おでかけ応援電動車等購入補助」を行います。

これらの施策を実施することにより、「第3次紀宝町地域福祉計画」の基本理念である

る「みんながふだんの暮らしをしあわせに感じるまちへ」の実現に向け、さらに取り組んでいきます。

物価高騰対策

長期化している物価高騰による町民生活の支援を図ることを目的とし、町商工会が発行する共通商品券を購入時に、5千円分購入で1千円割増、1万円分購入で2千円割増として販売することにより町民の皆様への購買意欲を高め、町内経済の活性化及び消費喚起を促進していきます。

町内事業所や町商工会と連携し、新卒者・U・I・J・ターン・移住希望者などを対象とした企業説明会の開催や、地元の高等学校や地元出身者が学んでいる大学への企業情報の発信、企業誘致に向けての町内適地調査など「雇用創出マッチング事業」に取り組み、雇用の創出・確保に向けて進めていきます。

また、町内にある店舗等の魅力及び集客力の向上を図ることを目的に、店舗の改修や取得費用などを100万円を上限に支援する「店舗魅力アップ事業」、新たに起業す

る方に、必要な店舗の取得や建築工事や改装工事・備品購入、広告宣伝などの費用を100万円を上限に支援する「創業支援助成金事業」などの事業を展開し、各事業者や起業する者の支援の充実を図り、町内の商工業活性化を図っていきます。

これまで行ってきた施策に、新たにこれらの施策を加え、充実・発展させ、今後も引き続き、町民の皆様の安全で安心した暮らしの実現に向け、魅力あるまちづくりをさらに進めていきます。

地方創生

地方創生については、人口減少に歯止めをかけ、将来に向けたまちづくり計画の長期展望と方向性を示すため、令和4年4月に「第2期紀宝町まち・ひと・しごと創生総合戦略」をスタートさせ、町総合計画との一体的な施策の展開を図っているところです。

第2期の主な施策としては、1期目の取り組みを継承・発展する形で、子育て、移住定住、商工観光などの事業を実施しており、特に、ウィズコロナを見据えたインバウ

ンドの強化や、世界遺産「熊野古道」などの地域資源を活かした活性化対策、子育て環境の充実等に努めることとしています。

国は、令和4年12月に現行の総合戦略にデジタルの活用などを盛り込んだ「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を新たに策定しました。

本町の総合戦略におきましても、国の総合戦略を勘案し改訂する必要があり、改訂の際にはデジタルの活用を検討していくなかで、魅力あるまちづくりから地域の活性化と移住の促進につなげ、時代の流れに適応し、人口減少に歯止めをかけるべく施策をさらに進めていきます。

新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策については、町民の皆様をはじめ、医療機関、福祉施設、事業者の皆様には、日頃から感染防止対策を徹底し、ご対応いただいております。ことに改めて感謝を申し上げます。

現在、全国的に感染者数は減少しており、三重県におきましても、本年1月12日に過去最